

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実		課(室)名	都市計画課
	施策	中心市街地の活性化		電話番号	087-839-2455
	基本事業	豊かな居住環境の充実		事業実施主体	その他
	事務事業	高松丸亀町商店街再開発事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	中央商店街の活性化と土地の合理的かつ適切な高度利用による都市機能の集積を図るため、中心市街地活性化基本計画に基づき高松丸亀町商店街において、商業・サービス業の魅力強化と効果の波及や来街者の回遊性向上、まちなか居住の促進に資する市街地再開発事業等を推進する。
-------	--

5年度概要	大工町・磨屋町市街地再開発事業に関する指導・支援（R4繰越） 大工町・磨屋町市街地再開発事業に関する指導・支援 丸亀町Gが借用している都市開発資金の国への償還金事務費
-------	---

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備
--------	------	----------	----	---------	------------


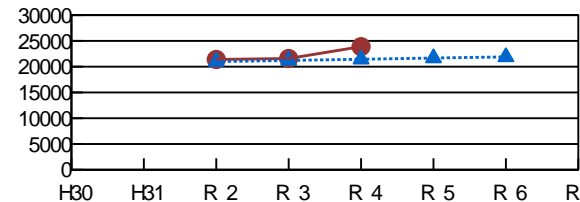

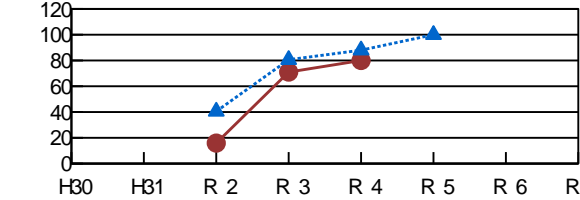
【事業の目的】

対象（何を）	高松丸亀町商店街
意図（どのような状態にしたいか）	丸亀町商店街において、再開発事業を推進することで、商店街のにぎわい創出を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
補助金の交付件数	件	1	1	1	1	1

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
カメラ計測による丸亀町商店街の歩行者等通行量	人/日	目標値	20,984	21,212	21,439	21,677	21,677
		実績値	21,395	21,586	23,884		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市街地再開発事業の実施により、商店街のにぎわい創出につながり、丸亀町商店街の通行量が増加した。 							(達成度) 111.4% 35点
成果指標名（どのような成果が得られたか） 大工町・磨屋町市街地再開発事業進捗率（事業費ベース）	%	目標値	40.5	80.6	88	100	100
		実績値	15.9	71	80		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 前年度からの繰越分については完了し、目標としていた事業に着手することができたが、一部を翌年度に繰り越すことになった。 							(達成度) 90.9% 31点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[千円]	409,641	1,795,436	882,899	739,746
（事業費）	[千円]	390,786	1,776,410	869,503	727,772
（職員人件費）	[千円]	18,855	19,026	13,396	11,974

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

令和 3年度から磨屋町街区の既存建築物除却工事に着手しており、4年度には同街区の施設建築物工事に着手した。5年度の事業完了に向け、着実な事業進捗のため、再開発組合に対して、適切な指導・支援を行う。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

繰り越した磨屋町街区の既存建築物除却工事及び施設建築物工事の年度内完了及び保留床取得資金貸付金の貸付の早期執行に向けて、国及び県と連携しながら、事業を進めていく。

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実		課(室)名	都市計画課
	施策	中心市街地の活性化		電話番号	087-839-2455
	基本事業	豊かな居住環境の充実		事業実施主体	民間企業
	事務事業	南部3町商店街における優良建築物等整備事業		事業期間	平成3年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	まちなか居住を促進するための共同住宅を整備するとともに、立地適正化計画に基づく都市機能誘導施設となる診療所など、まちなか居住の利便性を向上させる施設を整備する優良建築物等整備事業を推進する。				
5年度概要	常盤町地区優良建築物等整備事業に関する指導・支援 常盤町地区優良建築物等整備事業に関する指導・支援（R4繰越）				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	南部3町商店街
意図（どのような状態にしたいか）	優良建築物等整備事業の実施により、まちなか居住を促進し、商店街の活性化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R2	R3	R4	R5	中期目標 R5
補助金の交付件数	件			1	1	1

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R2	R3	R4	R5	中期目標 R5
事業進捗率（事業費ベース）	%	目標値	45.4	79	90.3	100	100
		実績値	34.4	44.9	78.9		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 前年度からの繰越分については完了し、目標としていた事業に着手することができたが、翌年度に繰り越すことになった。 (目標達成度)							(達成度) 87.4%
							30点
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	180,162	80,259	219,529	138,529
（事業費）	[円]	166,844	66,820	209,800	130,072
（職員人件費）	[円]	13,318	13,439	9,729	8,457

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

令和2年度から施設建築物工事に着手しており、今後も5年度の事業完了に向け、着実な事業進捗のため、民間事業者に対して、適切な指導・支援を行う。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

繰り越した昨年度分の施設建築物工事の年度内完了及び今年度分の施設建築物工事の着手に向けて、国及び県と連携しながら、補助事業を進めていく。